

## 防災まちづくり支援システム Ver3.5 リリースノート(更新情報)

防災まちづくり支援システム普及管理委員会

この度、防災まちづくり支援システムは、現在公開している Ver3.0 のマイナーアップデートとして、Ver3.5 をリリースする運びとなりました。リリースに伴い、機能修正及び追加された項目を下記の通りお知らせいたします。

### 1. 建物建築年度（西暦年）修正機能

編集メニュー内、建物属性情報編集機能において、建物の建築年度を修正することが出来る機能を追加いたしました。インポート時に、建築年度の情報が全くない場合でも、システム上で個別に建築年度を入力することが可能になりました。また、建物の新設及び移動、形状変更、一部削除等の処理を行うと、該当する建物の建築年度は、自動的に最新年度に変更されます。この値を編集機能にて、修正することができます。



編集メニューは、計画案を作成した上で、ご利用ください。

設定できる建築年度の値は、実数で個別に入力することができます。あらかじめデータが用意されていない場合は0となっております。

### 2. 世界測地系対応マップ（JDG2000）の追加

地域管理画面にて、地域を追加する際に選択できる投影系に、世界測地系に対応したマップを追加しました。これで、地域追加時に選択できるマップは、平面直角座標系第1～19系の各系統において、それぞれ日本公共座標（従来）と日本公共座標（JDG2000）を用意し、全38マップに増加しました。

投影系選択画面において、(JDG2000)と記載があるものが、世界測地系に対応したマップとなります。

世界測地系対応に関する情報は下記をご参照ください。

世界測地系移行の概要(国土地理院) <http://www.gsi.go.jp/LAW/G2000-g2000.htm>

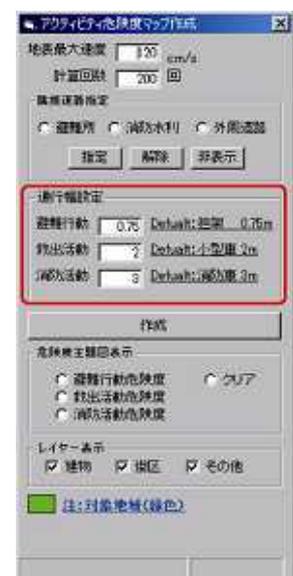
### 3. アクティビティ危険度マップ通行可能幅の変更機能

アクティビティ危険度マップ算定時に通行可能幅を変更できる機能を追加しました。これまで、アクティビティ危険度マップ算定時の通行可能幅はそれぞれ、避難行動は担架(0.75m)、救出活動は小型車(2m)、消防活動は消防車(3m)となっております。これは、システム改定時に委員会で妥当な利用手段および可能幅を検討したのですが、地域の実情に合わせて、通行可能幅を変更する機能を追加したものです。

初期値は、従来通りの通行可能幅が設定されておりますので、

特に変更する理由がない場合は、変更せずにご利用ください。

初期値を変更した場合、結果公表の際には、注意書き等で明記するなどの対応をご検討ください。消防活動のホースの長さ(200m)、及び消防水利から消火対象までの徒歩での移動幅(-1m)は変更することができません。



#### 4. 構造\_2 のデータ仕様の変更

構造\_2 のデータ仕様を、「整数 (コード : 1 木造、2 RC 造、3 S 造)」へ変更いたしました。木造・RC 造・S 造・軽量 S 造で定義された、構造\_2 のデータ仕様については、アクティビティシミュレーションの仕様に沿って定めておりましたが、軽量 S 造について、実行時にエラーが出てしまうことが判明いたしました。調査の結果、エラーの原因は、マニュアル上のミスであることがわかりましたので、バージョンアップに伴い、マニュアル表記を全面的に変更致しました。

ご迷惑をおかけいたします事、深くお詫びいたします。

正	構造_2	整数 (コード : 1 木造、2 RC 造、3 S 造)
誤	構造_2	整数 (コード : 1 木造、2 RC 造、3 S 造、4 軽量 S 造)

4 軽量 S 造が存在する場合、アクティビティシミュレーションを実行することができません。エラーファイルには、「1107:000003:建物データファイル:[エラー]構造コードデータが範囲外です。(構造コード=1~3)(値:4)」などのメッセージが表示されます。

マニュアル中の軽量鉄骨が扱えない理由は下記の通りです。(国土交通省 国土技術政策総合研究所による回答)

プログラムではフラジリティカーブに関する村尾・山崎論文のうち、震特委員会調査の結果を使ったものを使っています。このフラジリティカーブ(震特委員会バージョン)は、構造区分を木造、RC 造、S 造の 3 種類としているため、マニュアルにある軽量鉄骨は使えません。プログラムには間違いはなく、マニュアルの方が間違っています。

各機能の詳細は、防災まちづくり支援システム Ver3.5 に同梱される電子マニュアルをご参照ください。  
また、新機能に関するお問い合わせは、下記にお寄せください。

#### 連絡先

防災まちづくり支援システム普及管理委員会

E-mail: bousai@udri.net